

赤川 砂防だより



国土交通省

みんなで防ごう土砂災害
発行：新庄河川事務所
赤川砂防出張所
第96号：平成29年8月

台風シーズンの到来!!

— 「日頃の備え」再確認を —

梅雨～秋雨期は、前線や熱帯低気圧、台風などによる大雨の発生率が高くなります。

また、近年は**局地的大雨**や**集中豪雨**など雨の降り方に変化が生じており、各地で「観測史上最大」や「数十年に一度」などの記録的な大雨による甚大な被害が発生しています。

平成29年6月30日～7月10日には、梅雨前線および台風第3号の影響によって九州北部が大雨となり、**線状降水帯**が発生した福岡県朝倉市では**1時間に約130mm**の雨量を観測、**総降水量は660mm**を記録しました。

この雨の影響で土砂災害や河川の氾濫、浸水害などが発生しましたが、福岡県朝倉市須川では砂防堰堤の効果で、下流の人家等への被害が軽減したと推測されています。

すごい量だ！



大量の土砂と流木
約16,500m³
(推定値)

須川第1砂防堰堤 (福岡県)

- 堰堤高 7.0m
- 堰堤長 74.8m



※妙見川上流域

局地的大雨	単独の積乱雲が発達することによって起き、大雨や洪水の注意報・警報が発表される気象状態でなくても、急な強い雨のため河川や水路等が短時間に増水する等、急激な状況変化により重大な災害を引き起こすことがある。
集中豪雨	同じような場所で数時間にわたり強く降り、百mmから数百mmの雨量をもたらす雨。
線状降水帯	次々と発生する発達した雨雲(積乱雲)が列をなし、組織化した積乱雲群によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞する、線状に伸びる長さ50～300km程度、幅20～50km程度の強い降水をとまなう雨域。

9月も
ご注意!



熱中症と残暑バテ!

9月になると少し気温は下がりますが、比較的多い降雨や台風の接近などにより湿度が高いこと、また、暑さによる体力の低下等を要因とした熱中症の危険はまだ続きます。そしてこれからは昼夜の激しい気温差、夏に蓄積した疲労、エアコンで冷えた身体と内臓不調などが原因の「残暑バテ」の危険もありますので、秋になったからと油断せず、

- 睡眠を十分にとり、
- 栄養をしっかり摂り、
- 軽い運動を行い、

体調を整えて過ごしましょう!



また、7月22日～23日にかけて秋田県内で発生した記録的な大雨では、秋田市や横手市で**総降水量が300mm**を越え、雄物川などの河川が氾濫し、浸水害による甚大な被害も出ています。しかしこの雨では、土砂崩れの数が少なかったことや川の水位上昇に時間がかかったことのほか、住民の防災意識が高かったことが人的被害を抑える結果に繋がりました。

台風や大雨は警報などの防災気象情報を利用して、被害を未然に防いだり、軽減することが可能です。気象情報に十分注意し、台風や大雨の危険が近づいているときには、災害への備えをもう一度確認しましょう!

- 国土交通省 防災情報提供センター
<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>
- 気象庁 防災情報
<http://www.jma.go.jp/jma/menu/menuflash.html>
- 山形県 河川・砂防情報
<http://www.kasen.pref.yamagata.jp/>
- 鶴岡市 安全・安心
<http://www.city.tsuruoka.lg.jp/anzen/index.html>

いろいろな情報が
見れるね!





8月2日(水)、「庄内地区第1回安全パトロール」を行いました。

このパトロールは、1年に2回、工事に伴う労働災害と第三者に対する負傷・損害の防止を目的として、赤川砂防出張所と立谷沢川砂防出張所および、それぞれの工事を担当する施工業者とが合同で実施しています。

当日は、総勢37名が立谷沢川砂防出張所管内の施工現場の安全管理状況や管理体制を点検し、その結果をふまえ、改善点について検討しました。

今回の点検結果を各工事現場に反映させ、今後も事故防止に努めてまいります。



※点検の様子※



第1回現場研修会

in赤川砂防

7月12日(水)、赤川砂防出張所管内において現場研修会を開催しました。砂防関係者の技術力向上を目指し、新庄河川事務所や出張所の職員、委託業務の技術者等、合わせて26名が参加しました。

各現場の課題や注意点などについて、現場を見ながら設計の反省点や今後の対応についての確認をしました。

※現場研修の様子※

砂防講座

② 地すべり対策工事

砂防とは、台風や集中豪雨、さらには地震や火山噴火などにより引き起こされる土砂災害を未然に防止し、地域住民の人命、財産を守ることです。



地すべりの原因となる地下水や地表水を取り除く「抑制工」と、杭やアンカーなどを動かない地盤まで入れ、地すべりがすべらないように止める「抑止工」があります。

抑制工

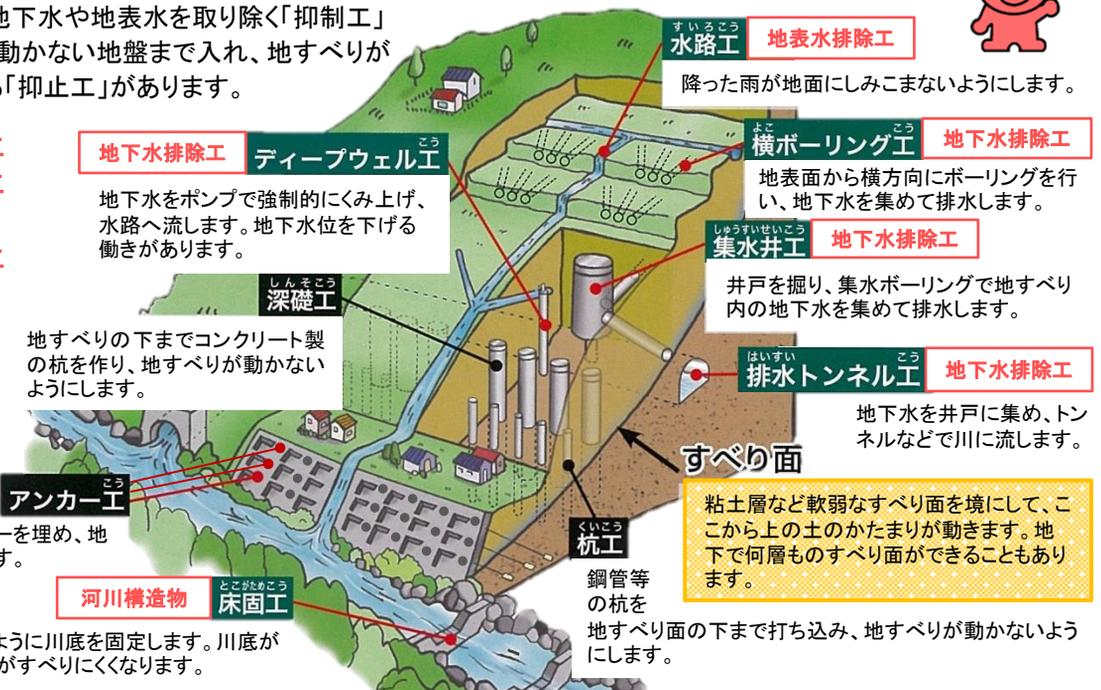
- 地表水排除工
- 地下水排除工
- 排土・盛土工
- 河川構造物工

抑止工

- 杭工
- シャフト工
- アンカー工
- 擁壁工
- 深礎工

地すべり面より下までアンカーを埋め、地すべりが動かないようにします。

川底の土砂が浸食されないように川底を固定します。川底が固定されるので、まわりの山がすべりにくくなります。



国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所 赤川砂防出張所

〒 997-0404 山形県鶴岡市下名川字落合 2 2 7

TEL : 0235 (53) 2841 FAX : 0235 (53) 2807

HPアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/shinjou/>



くわしくは
こちらの
QRコードを
どうぞ!

